

## 「次の仙台」をどう創るか

経済力、人材育成

**プレミアム家族葬 清月記 グループ  
みおくり邸 宮町  
グランドオープン**

仙台市青葉区宮町3丁目5-14

0800-888-3091  
24時間・365日受付  
<https://www.seigetsuki.co.jp/>

(株)Biz Freak

平 雄飛氏



たいら・ゆうひ

1990年千葉県印西市生まれ。32歳。

早稲田大学人間科学部人間情報学科卒。ラグビー蹴球部に所属。グロービス経営大学院にてMBA取得後、立教大学人工知能科学修士過程へ。

サントリー(㈱)ホールディングスで法人営業を担当。ホールディングス新浪社長賞を受賞。その後、2021年2月に(株)Biz Freakを創業。

す。お客さまから困りごとのご相談を伺っていると、さまざまな新しいビジネスが生まれる業態でもあります。ところで、御社は東京のほかに仙台にも拠点を置き続けています。その理由は何でしょうか。

平 大学卒業後サントリーホールディングスでのビジネスの始まりは仙台なのです。仙台に強い思い入れがあったということがもとからあつたということではなく、仙台で活動していく中で、徐々にこの地域に課題意識が生まれていきました。

菅原 具体的にはどのようなこと

でしようか。

平 例えば、東北には東北大学や技術に強い高専が多くあります。しかし東北大学卒の95%以上が県外に就職してしまい、東北発の上場企業が少ないのも事実です。東北からいなバーションがもつと数多く起つても良いのではないかと思い、その仮説検証をしたいというのが、仙台に拠点を置いている理由です。東北で活動していると、市場として遅れていると感じており、私どものよう

【(株)Biz Freak】 クライアント企業の新規事業開発・受託開発(Webアプリ・システム開発・xR・AI)を行なながら、自社サービスの開発も進めています。データ開発によるアジャイル開発と仮説の検証によって、データ



菅原 御社は、クライアント企業の新規事業開発やWebアプリ・システム開発などを行いながら、自社サービスの開発も進めています。現在主流となっているシステムやソフトウェアの開発手法の一つである、スピード感のあるアジャイル開発と仮説の検証によって、データ

菅原 御社は、世界的にもまだ確立されない課題の一つなのです。データの分析結果をもとに、課題解決や新規事業開発を提案しているのです。具体的な例を。平 家を売りたい方と買いたい不動産企業の仲介担当者向けのシステム

タドリブンな新規事業開発を行っています。データドリブンとは、勘や経験などだけに頼るのではなく、勘の意志決定を行う業務プロセスのことです。

菅原 あらゆるデータを使って、課題解決や新規事業開発を提案しているのです。具体的な例を。平 家を売りたい方と買いたい不動産企業の仲介担当者向けのシステム

菅原 データの分析結果をもとに、データによって、正しい方向に開発物の付加機能を提案し実走していくという、データ駆動開発が最大の強みだと思います。

平 ただアジャイル開発を回すのではなく、実際の市場から抽出したデータによつて、正しい方向に開発物の付加機能を提案し実走していくという、データ駆動開発が最大の強みだと思います。

菅原 故社は、「生命(いのち)の物語応援会社」として、お客様の人生をより豊かにするをテーマに、さまざまな事業を開拓していきます。

平 清月記さんは、冠婚葬祭から飲食、ハイヤー、宿泊事業まで、幅広く手がけておられます。事業の底辺に流れている企業理念はどのようなものですか。

菅原 故社は、「生命(いのち)の物語応援会社」として、お客様の人生をより豊かにするをテーマに、さまざまな事業を開拓していきます。

平 清月記さんは、冠婚葬祭から飲食、ハイヤー、宿泊事業まで、幅広く手がけておられます。事業の底辺に流れている企業理念はどのようなものですか。

## 仙台の次世代経営者 presence 対談

(株)清月記専務取締役  
菅原 啓太氏

すがわら・けいた  
1988年仙台市生まれ。中央大学経済学部卒業。(株)清月記専務取締役。2021年度仙台青年会議所理事長。趣味は旅行。

連載  
第9回

仙台、日本を拠点に、国内ばかりでなく、世界市場を見据えながら事業を開拓している次代を担う若手経営者に、活力ある仙台の経済活動や人材育成の在り方、そしてこれから時代を生き抜くために必要な価値観や視点を、株清月記の菅原啓太専務が聞き出します。



一番町のリア・フィーユで

次の仙台を創るには  
「育成と賃上げに帰結」

菅原 最後に、次の仙台をどう創りますか、メッセージをお願いします。

菅原 最後に、次の仙台をどう創りますか、メッセージをお願いします。

北でエンジニアが成長するために最も就職したいと思う企業になる」というものがあります。つまり、育成と賃上げに帰結すると考えていました。人にとって絶対なのは時間です。同じ時間を生きているのであれば、場所はそんなに経済成長停滞の要因とはならないはずです。

菅原 ありがとうございました。今後もご活躍を期待しております。